

女性自立・収入向上

レイクセブ町のチボリの女性たちの組合 COWHED 近況



マニラでの
COWHED のブース



卒業式後の
スージー・メイと
組合員の母親



21回目の組合員総会 (4/2)

COWHEDは4月11 - 14日マニラでのイベントに参加しました。

ミンダナオ島のサウスコタバト州やジェネラルサントス市等4州5市からなるRegion XIIと呼ばれる地域としての物産展で、競合するブースが多く、予想ほど売れなかったということです。

この4,5月は夏休みで、避暑地として人気のセブ湖は、観光客のみならず、多数の研修所で行われる参加者でにぎわう時期ですから、店舗での売り上げには十分期待できます。

私たちの支援は2002年からですが、COWHEDの発足は1995年です。

すでに閉鎖されたSCM診療所・所長Sr.セシリア主催の「女性の健康と収入向上」研修参加者が中心になって設立し、21年目の今年、組合員数は215名と3倍以上になりました。町には他にもハンディクラフト組合はありますが、COWHEDは人数のみならず、組織力、その他の面でも、町を代表する組合になっています。

私たちのCOWHED支援には、2名だけですが組合員の子どもを対象としたカレッジ奨学金もあります。先日、うち1名の卒業写真が届きました。今年3年になる残る1名が卒業するまでこの支援は続けます。

可能な限りイベントに参加して、COWHED 製品を販売し、現地女性の収入向上をはかるだけでなく、先住民族の現状を理解してもらう糸口にしています。組合員は、自分たちの製品が日本で販売、愛用されていることに誇りをもっています。私たちもリピーターが増えて下さるのは嬉しい事です。先日も、重宝して使ってきたが傷んできたのでと、ミラー付き口紅ケースの注文を頂きました。この6月の訪問時には、一番人気の靴型キーホルダー(写真)や、定番の名刺入れ、ブックカバーなどを多数仕入れる予定です。



ビラーンの伝統織ナバルタビ織の継承、織手の収入向上支援



5月のイベント用に縫製ボランティアから届いたナバルタビ織トート



ビラーンの伝統織ナバルタビについては、お伝えしてきたように、現地に縫製できる女性がいなかったため、生地そのまま購入し、日本の縫製ボランティアにより、バッグなどに仕上げ販売しています。今回、そのうちのお一人から、本格的に縫製技術を学びたい方がいればお手伝いしたいという申し出をいただきました。ただし、現地での出張指導ではなく、日本に研修希望者を招く形での指導を希望されています。

伝統織の継承者育成とともに、縫製技術の習得支援も収入向上には欠かせません。研修受け入れも含めて支援方法を検討したいと思います。

5月の社員総会と6月の20周年記念イベントのご案内

第16回通常社員総会

日時:5月28日(土)

13:30~15:30

会場:青葉区区民活動
支援センター
会議室4

アクセス:東急田園都市線
田奈駅1分

社員会員には、5月中旬
に議案他送付いたします。
社員以外のオブザーバ
ー参加も歓迎です。

● 20周年記念イベント『フィリピン・ミンダナオ島のつどい』

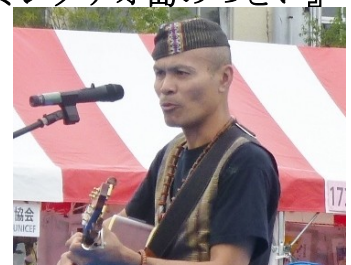
ミンダナオ島出身の歌手・アリソンさんをゲストに迎え、ミニライブとマロン(伝統の筒状ロングスカート)の様々な使用方法の実演。ミンダナオ先住民族と難民問題の話も伺います。

日時:6月26日(日) 11時から14時

場所:レストラン・ウチルカ(旧フラメシ)

東急田園都市線「青葉台駅」より
バス「中谷都」下車目の前

*詳細は当団体ホームページでご案内します。また、チラシも準備中です。ご希望の方は事務局までお知らせください。



アリソンさんのプロフィール

ミンダナオ島出身の文化活動家。社会問題を伝えるメッセージソングを歌うほか、演劇ワークショップのファシリテーターとして活動。在日フィリピン人自助組織KAFIN横浜代表